

2019年3月11日

## APIの提供およびフィンテックサービスとの連携開始について ～共通のIDでお客さまの口座情報をフィンテックサービスと安全に連携～

武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）では、2019年3月25日（月）より「TSUBASA FinTech 共通基盤」によるAPI※1の提供およびフィンテックサービスとの連携を開始いたしますので、お知らせします。

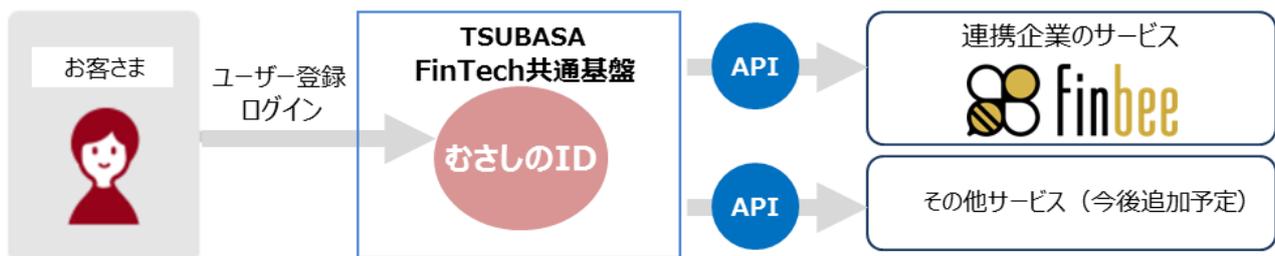
「TSUBASA FinTech 共通基盤」は、「TSUBASA アライアンス」※2参加行とT&Iイノベーションセンター株式会社（代表取締役 森本 昌雄）が共同で構築した、フィンテック企業等の外部事業者の皆さまが同一の仕様で接続できるオープンAPIのプラットフォームです。

この共通基盤を通じ、お客さまにご利用いただけるサービスとして、株式会社ネストエッグ（代表取締役社長 田村 栄仁）の自動貯金アプリ「finbee（フィンビー）」と連携します。

フィンテックサービスのご利用に際しては、事前に登録いただく「むさしのID」※3によりお客さまの認証を行います。これにより、インターネットバンキング契約のないお客さまでも口座情報を各種サービスと安全に連携することができ、様々なフィンテックサービスをご利用いただけるようになります。

当行では、今後もお客さまの多様なニーズにお応えする最適な商品・サービスの提供に向け、フィンテックへの取組みを強化してまいります。

### <TSUBASA FinTech 共通基盤を通じたフィンテックサービスご利用のイメージ>



※1：API とは、Application Programming Interface の略です。お客さまの同意に基づいて銀行等のシステムに外部から接続して安全に情報を取得できるようにする仕組みで、その仕様等をフィンテック企業等の外部事業者に公開することを「オープンAPI」といいます。

※2：千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行の7行が参加する地銀広域連携の枠組みです。

※3：インターネットで提供されるサービスを、共通のIDでご利用いただく仕組みです。

以上

報道機関からのお問い合わせ先  
 営業統括部 フィンテック推進室 磯中・野崎  
 TEL (048) 641-6111 (代表) 内線 2401、2408

## <自動貯金アプリ「finbee」のご利用イメージ>

「finbee（フィンビー）」はおつりや歩数などのルールに連動して、楽しみながら貯蓄ができるアプリです。お客さまがアプリ上で目標とルールを設定すると、API 接続により当行にお客さまの finbee 専用口座（目的別預金）をオンラインで開設し、普通預金口座から自動で振替えることができます。

**ご利用イメージ**

10:53 銀行選択  
武蔵野銀行 (highlighted)  
SBI Sumitomo Bank  
MIZHO 三井住友銀行  
ちばぎん  
北洋銀行  
第一銀行  
伊予銀行  
中国銀行  
東邦銀行  
百五銀行 FRONTIER BANKING  
お探しの銀行が見つからない方はこちら

10:54 finbee  
連携には、むさしのIDが必要です。  
お持ちでしょうか？  
武蔵野銀行  
むさしのIDはインターネットバンキングのIDとは異なります。  
むさしのIDをお持ちの方  
口座を連携する  
むさしのIDをお持ちではない方  
むさしのIDについて  
新しく口座を開設する  
©2016 NestEgg, Inc.

10:54 finbee 武蔵野銀行  
ログイン  
このページは、武蔵野銀行のWEBサイトとなります。  
むさしのIDにログインのうえ、お手続きいただきます。  
ユーザー名 店番号・口座番号  
ユーザー名を入力  
パスワードを入力  
パスワードをお忘れの場合  
ログイン

10:59 貯蓄目的 0円  
Opt >  
貯蓄目的を設定する  
connected with 武蔵野銀行

finbeeの口座連携画面で武蔵野銀行を選び  
口座連携手続きを開始します

むさしのIDでログインし  
口座情報連携に同意します

連携完了です  
目的などを設定します